

1980-APR.

MUSIC CITY

Produced by

COCKY
POO
YAMAHA



中島みゆき「生きていてもいいですか」
ニューアルバム発表

チャゲ&飛鳥 待望のファースト・アルバム
「風舞」遂に完成

話題のアーティスト12人の素顔

10年後、このアルバムは 伝説になる…チャゲ&飛鳥フ ァースト・アルバム『風舞』



(ワーナー・パイオニア L-11015)

このところ、個性的なキラメキを放つアーティストに、あまり恵まれなかったニュー・ミュージック・シーンに、再び北九州パワーが巻き起っている。長瀬剛、クリスタルキング、金子裕則、そしてチャゲ&飛鳥など、すべて北九州出身のアーティストたちである。

このようなアーティストたちの中で、いま、圧倒的な人気を誇っているのが新進気鋭のデュオ、チャゲ&飛鳥だ。

昨年の初夏、『ひとり咲き』で北九

州・博多から、さっそうとデビューして以来、爆発的な人気に支えられながら、デビュー・シングルも大ヒット、現在もヒット・チャートを上昇中という強さだ。このようにヒットし続けるには、彼らのルックスもさることながら、歌唱力のうまさにある。スタイルは流行のニュー・ミュージックでありながら、実は素朴で純情な骨っぽい博多っらしい現代的センスを持った演歌的な味を加えたフォーク・ソングにあるような気がする。つまり、フォーク演歌とか、ニュー・フォークとも呼べるニュー・ミュージックだと言えることだ。デビュー・シングル『ひとり咲き』に続く、セカンド・シングル『流恋情歌』も、同じ路線に乗ったフォーク演歌である。そこにはチャゲ&飛鳥の哀愁を含んだ熱いヴォーカルに、情感豊かな日本の風景を感じないわけにはいかないはずだ。今回のファースト・アルバム『風舞』は全体を通して青春のキラメキを素直な鋭い感性と、彼らの泥臭い独特な

フィーリングでさわやかに歌い上げた力作である。時にはパワフルに力強く熱唱しながらも、ほろ苦い哀愁が流れている。また時にはやさしく語りかけるように歌いながらも、骨っぽい男の力強さが漂っている。A-1『追想』は心地よいメロウなインストゥルメンタルで、アルバムのプロローグになっているようだ。A-2『私の愛した人』はじっくりと歌い込んでいるラブバラードである。A-3『夢から夢へ』ではちょっぴりセンチメンタルなヴォーカルを聴かせているが、デビュー・シングルで大ヒット・ナンバーでもあるA-4『ひとり咲き』と、アルバム・タイトル・ナンバーであるA-5『風舞』は、彼らの個性である演歌フォークを響かせる哀愁のメロディーに乗せて、力強くやさしく歌い込んでいる。イントロの風の効果音に力の入った音作りの断面がうかがえる。B-1『御意見無用』は彼らの乗りに乗っている状態がわかる水々しいヴォーカルに感心するはずだ。B-

2『夏は過ぎて』はカレッジ・フォーク的イメージを感じることも出来る。B-3『冬の夜』からB-4『流恋情歌』までは彼らの持ち味をたっぷり詰め込んだ哀愁のメロディーだ。ラストB-4『終章』は、このアルバムのイントロデュースに通じるものだが、また同時にこれからのチャゲ&飛鳥のひとつの方向性を解くキーワードが隠されているとも言えるような音作だ。ここに80年代のニュー・ミュージック・シーンの新しいひとつの流れを見ることが出来るはずだ。



てくれるだろう。



(キャニオン V-52)

New Single

見上げれば雲か

N・S・P

どんな曲でも、N・S・Pの手にかかると、青春の叙情詩になってしまうのだろうか？ まるで、魔術師の手にかかったように…。

80年代の夜明けとともに発売された驚異の14枚目のアルバム『彩雲』が、好調な出足で、順調な伸びをみせるN・S・P。彼らの歩みは、日一日とより確かなものになっていく。自然を愛し、きらめく青春時代を謳う、一貫した創作ポリシーで、レコーディング、コンサートと意欲的な

活動続ける彼らには、心底脱帽してしまう。青春を肌で感じ、表現する感性を保つ努力は、並み大抵のものではないと思うからだ。

ニュー・シングルは『見上げれば雲か』。自然に接していれば、詩的な言葉が次々に湧いてくるんだ、という。“空を見上げてみよう。愛する人、過ぎ去った日々がなつかしく想いだせるじゃないか。” 優しいメロディとびったり息のあったハーモニーは、水々しい感性で、しみじみと聴かせ

ストアルバムと、次のシングルのリコーディングをやっております。誰もがそうらしいのですが、自分のアルバム作りに熱中し、興奮しております。内容は、聞いてのお楽しみ。八神純子さんや、クリスタルキングが、レコーディングに参加してくれて、とても楽しいアルバムに仕上がります。半分ちょっと、録音が終了したところです。次のシングルも是非聞いていただきたいと思ひます。



この春YUKOは、きらめチック…

石川優子

七分袖のブラウスを着て、カーディガンをはおって街でウィンドショッピング。そんなさわやかな季節になって来ました。皆さんはこの春をどうお過ごしですか？私はというと…この4月でデビュー2年目を迎えより一層の充実と飛躍を求めて頑張っています。

新曲の「ラブイズドリーム」もおかげで好評を得て、4月21日には私の自信作「ラブフィーリング」というタイトルのセカンドアルバムも発売されます。ちょっと大人になった優子を感じて下さればいいな、と思っています。5月に入るとコンサート活動も待っているのでは今何と云っても体力作りに張り切っています。腕立て伏せや、腹筋運動はもとより、最近では、大極拳に挑戦してみようと真剣に考えています。(知り合いの人に勧められたんですケド…ホントに乗せられやすいのニュー) 何はともあれ、これから各地で皆さんにお会いする機会が増えるので、いつもベストの状態を保って行きたいと思っています。

心はすでに カリフォルニアの空 八神純子

すでに御存知の方もいらっしゃると思いますがこの4月から八神純子さんが、音楽や語学の勉強のため、ウエスト・コーストへ行く事になりました。あの60年代後半から70年前半にかけて数多くのロック・アーティスト達がいいたカウンティオレンジと言う所を拠点にして、チャップマンカレッジの芸術学部の聴講生として勉強するそうです。「音楽というものを様々な方向から聞いて、出来るだけたくさん曲を作りたいと思っています。もし、いい曲が作れたら日本に帰ってからレコーディングしたいから。」という彼女。ともかく留学の成果を期待しています。そして今、彼女が音楽以外で一番関心を持っているという英会話については、「英語で言うのは私の場合、音楽的にも重要な要素になっているので、今までずっと外人の先生に付いて英会話のレッスンに通っていたんです。だから一通りの雰囲気はつかめたつもりなので、あとは日常生活にどれほど溶け込めるかなんですヨ。だから今回はアメリカでの生活スタイルを身に付けることが課題という言葉に彼女の決意のほどがうかがえました。

ピラミッド・パワー を求めて…

円広志

東京でのコンサートも無事終了(3月27日渋谷公会堂) この紙面が皆さんの手に届く頃には、新曲も発表されている事と思ひます。

4月21日発売、タイトルは『ミュージシャン』は曲も詞も大変気に入っています。是非一度聞いて下さい。

現在、少年誌に連載中の「翔んだカップル」という映画に出演中、その封切りは夏休み頃です。期待して下さい。

さて話は変わりますが、今度、5月上旬から8日間ぐらひの予定で、

アフリカのエジプトに行きます。ピラミッドを見る事は僕の長年の夢でして、やっと実現出来る事になり、毎日「エジプト旅行案内」を見ながら空想の世界に入っています。無事帰って来たら、又感想など皆さんに、聞いてもらおうと思ひます。

いつかあなたの 街でも会えますネ N・S・P

3月28日、熊谷会館を皮切りに始まった、NSPコンサートツアー。題して「町から街へ」。このタイトルからもわかる通り、今までは主に大都市中心だったNSPのツアーだが、今回は比較的小さな街で、小さなステージで行なわれる。その数48ヶ所。今まで行ったことのない地方…それこそNSPにとって、生まれて初めて訪ずれる地方も数多く組まれている。この新しい地で、人々はNSPをどのように受けとめてくれるだろうか…。新鮮な反応も、また彼らにとって新しい刺激になるに違いない。

4月21日には待望の新曲が発表される「見上げれば雲か」。それと同時に、リーダーの天野が約一年にかかって書いてきた新曲と同タイトルのエッセイ集も出版される。楽符ではなく、原稿用紙に向けられた彼の心の断片も、また興味深いものだ。また、クリスタルキングの新曲「蟹気楼」では作詞を天野が担当し、初夏に向けて意欲的な、NSPに大いに期待して下さい。



みゆきの“オールナイト・ニッポン”

中島みゆき

今回は、毎週月曜深夜に放送されています“オールナイト・ニッポン”のスタジオを訪ねてみました。山のようになされたハガキは、全部で6000

通程。その一枚々々に目を通してその中から番組で使うものを選び出し再度読み直して12時30分頃から進行の打ち合わせが始まります。

ラジオを聞いた方は御存知だと思いますが、“今日も元気だ男がうまい”でおなじみの、みゆきさんの番組には、差し入れがとても多いのです。その中でも毎週々々必ず差し入れてくれるファンがいます。最初が肉まん、次がコロッケ、焼いも、インスタントお茶づけ、アイスクリーム、牛どんのセットなどなど、もう数えきれないほどなのです。それも一つや二つなどというものじゃなくて、いつも30個以上なのです。みゆきさんをはじめスタッフの方々も、今週は何かな？と期待しながら待っています…とか。

4月5日にはLP「生きていてもいいですか」が発表され、5月15日からは10コンサートツアーが始まります。家に帰る時間がますます少なくなりますが、張りきっているみゆきさん。

いま、春のツアーに 静かに燃えています 谷山浩子

現在「コッキーポップ」のテーマ曲で流れています、谷山浩子さんの「カントリーガール」はいかかでしょう。そしていよいよ春のコンサートのシーズンが訪れて来ました。谷山さんは、4月14日の仙台市民会館を皮切りに春のコンサートを開催します。そして今春のコンサートツアーの準備やリハーサルで、忙しの毎日が続いています。今回のコンサートは、北海道・四国には残念ながら予定されていませんが、全国23ヶ所、谷山さんも大張り切り。このツアーの中でも特に注目されるのは、6月4・5・6日の3日間、東京のabc会館ホールで行なわれるコンサートです。3日間同じ内容のステージはなく、毎日違うゲストを招いて行なわれる予定です。東京及び東京周辺にお住まいの方は、是非3日間通して見に来て下さい。

A面●『如月の詩』

前奏などのピアノのメロディがきれいで、とても気に入ってマス。うちの姉は、2番まであればいいのに…なんて言ってるけど、かえって短い方がこの歌はいいと思うんです。

●『いつでも黄昏』

出だしのギターの部分がいかにして。それと、2番と3番の間の間奏も



N・S・P『彩雲』宮城県 佐藤啓子(18才)

いい。月君と僕のふざけあいも…いつでも黄昏までのフレーズが、案外好きです。

●『浮雲』

コンサートで聞いた時から、とても気に入ってます。平賀さんにぴったりの曲。男の哀愁が漂っていて、しみじみと優しく語りかけてくれる。いい感じだなー。“俺..とが..おまえ..”と云う言葉は、平賀さんでなければ似合わないような気がします。メロディラインも平賀さんらしくって好き。もちろん詩も大々好きです。

B面●『きれぎれの空から』

ギターがたくさん入ってて、いいですね。きれいなメロディー、天野さんがひとりて唄う部分が、また、いいんです。

●『大きな街まで』

『愛のナイフ』のB面できいたライブも良かったけど、LPの方もいいアレンジですね。リズムにのったいい曲です。「夜更けは…真実さ」の途中でやる、天野さんの節回しがgood。間奏のギターもいいし、平賀さんのベースがなんととっても、シビレるんですよ。

●『風の眺め』

中村さんらしく、静かに、大人の感じで唄ってますね。優しいメロディーで、さびの部分の中村さんの歌唱力がとてもステキです。最後の月あなた……というところが、こだまするみたいなの。洒落てて好き。

●『海辺に語りて』

聞いているうちに、吸いこまれてしまうような、そんな感じがしました。LPの終わりの曲だけあって、力作だと思うんですけど…。この歌も、好きですね。ギター之音がいいなあ、——なんだかんだのと、書きまくってしまいましたが、とにかく『彩雲』最高!!

独断と偏見のいろめがねコーナーの記念すべき第一回は、宮城県の佐藤さん。

このコーナーに投稿してくださる方は、ヤマハ・ミュージック・シティ・ファンクラブ『MC』へんけんレポート宛、レコード名を明記の上お寄せください。

From My Record Library

フリー／FIRE & WATER

古いレコードだけど、僕が今でも一番よく聞くのはこのFIRE & WATERをはじめとするフリーのアルバムだ。サウンドにも、メロディにも、^{うたごころ}詩心が感じられる素晴らしいグループだが、僕は中でも、重く、そしてバネのあるベースにひかれた。

大学一年の頃買ったこのアルバムは、その頃の青春の想い出ともマッチして、今でも聴くたびにいろいろな風景が心に写ってゆく。

ポール・ロジャースの、あの独特な声は、フリー解散後も忘れられず、彼がバット・カンパニーというグループを結成した時は、非常に嬉しかった。来日した時も勇んで観に行ったが、フリーほどの感激はなかったようだ。僕にとってポール・ロジャースは、フリーのメンバー以外のなものでもないのだ。



BaseBall

YAMAHA GIGERS

初回の得点守れず！ ジャイガース惜しくも敗れる。

我らがNSPを中心とした、ヤマハ少年ジャイガース、浜田省吾率いる、カレイドスコープ、TOMBOのボーズ、それに、六文銭ファクトリー、と、メロディハウス、以上5チームで結成されている 関東ワンプクリーグの開幕戦は、3月16日、快晴の西武球場で、女の子ばかりの観衆を集め、ワーワーキヤーキヤーの歓声の中、盛大に行なわれました。第1試合で登場した我らがジャイガースは、初回早くも3番平賀の二塁打、4番中村のタイムリー等で、2点を先取。そして先発ピッチャーは、エース平賀、北村マネージャーを女房役のキャッチャーに、息の合ったバッテリーで、出足好調のピッチングを見せます。しかし、迎えた3回の裏、TOMBOの所属するボーズ

の無情な攻撃。久々に投げたという平賀の球をパカスカ打ちはじめ、それに合わせる様に、バックの守備も乱れ何と、名サード中村までが暴投……ふと気がつくと5対2と逆転され、結局ジャイガースは、80年の初戦を飾れませんでした。

敗戦投手、平賀、打たれたヒットが4本。

「クヤシー、次はがんばるぞー!!」今後のジャイガースに期待しましょう。

尚、当日の記録者は、ジャイガース所属の谷山浩子スコアラーでした。

	1	2	3	4	5	6	7	
ジャイガース	2	0	0	0	0	0	0	2
ボーズ	1	0	4	0	0	0	0	5

MUSIC CITY INFORMATION

Information

★佐々木幸男

“ONE ON ONE TOUR '80,,

- 4/10 根室公民館(W)
19 滝川文化センター(〃)
20 留萌文化センター(〃)
21 旭川市民文化センター(〃)
5/4 静内文化センター(〃)

★大友裕子

- 4/26 仙台市民会館(ミ)
5/3 大阪厚生年金会館(夢)
9 福岡少年文化会館(B)

★N・S・P

“町から街へ,,

- 4/15 長岡市立劇場(F)
19 平塚市民センター(平)
20 三島市公会堂(沼)
24 山口市市民会館(夢)

- 25 広島郵便貯金会館(夢)
26 津山文化センター(〃)
27 鳥取市民会館(〃)
29 倉敷市民会館(〃)
30 姫路市民会館(〃)
5/2 高知県民文化ホール(〃)
3 観音寺市民会館(〃)
14 伊勢観光文化会館(〃)
15 刈谷市民会館(〃)
17 名古屋市民会館(〃)
18 大垣市民会館(〃)
22 山梨県民会館(〃)
24 磐田市民文化会館(〃)
26 宇都宮市文化会館(〃)
27 川崎産業文化会館(〃)
28 足利市民会館(〃)
31 那覇市民会館(B)

★谷山浩子

- 4/14 仙台市民会館小ホール(ミ)
15 岩手県民会館小ホール(〃)
16 秋田産業文化会館(〃)
18 一戸町文化センター(〃)

- 19 青森市民文化ホール(ミ)
21 山形市民会館(〃)
22 福島文化センター小ホール(〃)
26 大阪厚生年金中ホール(夢)
28 岡山市民文化ホール(〃)
29 広島見真講堂(〃)
5/1 福岡少年文化ホール(B)
7 小田原市民会館(シ)
13 浦和市民会館(メ)
14 宇都宮文化会館(〃)
15 群馬県民ホール(〃)
21 町田市民ホール(相)
22 千葉教育会館(メ)
24 愛知勤労会館(サ)

●問い合わせ先

(W)=WESS 011(512)4377
(ミ)=ミュージックギルド 0222(22)2033
(夢)=夢番地 0862(31)3531
(B)=BEA 092(712)4221
(F)=FOB 0252(29)5000
(メ)=メロディーハウス 03(352)1009
(サ)=サンデーフォーク 052(202)9100
(平)=平塚労音 0463(21)2486
(沼)=沼津労音 0559(62)1942
(相)=相模音協 0427(54)2669
その他詳細はヤマハ・ファンクラブ 03(710)4689

★中島みゆき

- 5/15 北上市民会館(ミ)
16 石巻市民会館(〃)
18 会津市民会館(〃)
21 鳥取市民会館(夢)
22 津山文化センター(〃)
24 島根県民会館(〃)
28 清水市民会館(メ)
30 土浦市民会館(〃)
31 銚子市青少年文化会館(〃)

6/6金 季節の扉を解く瞬間

さみしい人への 愛のりふれ
いん 佐々木幸男コンサート

●東京・新宿厚生年金小ホール
●開演 18:30
●料金 ④¥1,800(指定)
●お問い合わせ
コッキーサウンド (03)711-5647
文化放送 (03)357-1111
東京労音 (03)265-6361
ヤマハ (03)710-4689

チャゲ&飛鳥 KICK OFF PARTY

ぼくたちとみんなで作ろう暖かい時間

- 福岡 4月25日(金) 17:30~
ヤマハスタジオ
●札幌 5月5日(月) 14:00~
札幌ヤマハセンターホール
●大阪 5月17日(土) 15:00~
ヤマハなんばセンターホール
●浜松 5月18日(日) 15:00~
ヤマハ四ッ池センターホール
●東京 5月30日(金) 18:00~
駒場エミナース

※事前に入場券が必要です。詳細は
ヤマハ・ミュージック・シティ・フ
ァンクラブへお問い合わせ下さい。



この春、最初の野外フェスティバル 4/20(日)合歓スプリングフェスティバル NEMU SPRING FESTIVAL '80

春うらかな志摩半島の合歓の郷
に、今年も恒例の“合歓スプリング
フェスティバル”の季節がやってき
た。今回の聴きものというか、見せ
どころはなんとと言っても、今年の“世
界歌謡祭”でグランプリに輝いたク
リスタルキングの参加と、いま若い
女の子たちに圧倒的な人気を呼んで
いる話題のデュオ、チャゲ&飛鳥、そ
して熱いロックンロールを叩き出す
ツイスト、女性シンガーではベテラ

ン、田島裕子と、R&B、ソウルっ
ぽいフィーリングで独特なヴォーカ
ルを聴かせる山根麻衣、今をときめ
くヤングのアイドル、石川優子など、
合歓フェスならではの豪華な顔ぶれ
で開催される。

4月20日(日)合歓の郷・野外ホール
開場12:00開演13:00~終演17:00
出演 ツイスト、クリスタルキング
チャゲ&飛鳥、石川優子、山根麻
衣、田島裕子、司会は桂文珍

君はもう読んだか? “MUSIC CITY”

“MUSIC CITY”の定期購読を御希望の方は、ヤマハ・ミュージック・シティ編集部までお申し込み下さい。

詳細は指定の現金振替用紙に記入した上、もよりの郵便局よりご送金下さい。

●年間購読料(毎月1日発売) ¥1,500(郵送料を含む) ●1部 ¥100(郵送料 ¥60)

